

○議長（茅沼隆文）

再開いたします。

午後 1時30分

○議長（茅沼隆文）

引き続き、一般質問を行います。

それでは、1番、佐々木昇議員、どうぞ。

○1番（佐々木昇）

皆様、こんにちは。1番議員、佐々木昇でございます。

本日は、通告に従い一つの項目について質問させていただきます。「開成水辺スポーツ公園の整備充実とパークゴルフの普及振興について」。

年間10万人を超す方が利用され、いまや開成町の屋外スポーツの拠点である開成水辺スポーツ公園。中でも全国大会をはじめ伝統ある大会が開催されるパークゴルフ場は、平成6年の開園以来22年を迎える現在においても、その利用者数は伸び続けています。特に、中・高年世代は健康志向だけにとどまらずスポーツとしての関心が高く、より完成度の高い整備を求めています。

また、屋外スポーツとして以前より人気の高いテニスは、町内においても競技人口が増加し、町営のテニスコートの建設が望まれております。総合型スポーツクラブを推進する町において、スポーツ環境の整備推進を求めます。

いまや町の代表的なスポーツであるパークゴルフは、三世代で交流できる安全で楽しいスポーツである。世代間、地域間の交流を図るとともに、今後も愛好者の裾野を広げる取り組みに努めるべきと考えます。町の方針をお伺いいたします。1、平成33年、神奈川県で開催される全国健康福祉祭（ねんりんピック）におけるパークゴルフの誘致について、2、パークゴルフ場の新コース増設の検討状況について、3、硬式・軟式兼用テニスコートの建設を、4、サッカー場の拡張を、5、パークゴルフを中学校の課外活動に、についてお伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、佐々木議員のご質問にお答えをいたします。

開成水辺スポーツ公園は、議員がおっしゃるように、年間で10万人を超す町内外からの多くの方にご利用いただいております。平成22年度からは指定管理者制度を導入し、民間による維持管理・運営を行っておりますが、開成町の総合型スポーツクラブの活動拠点にもなっており、公園内には関東初で整備したパークゴルフ場をはじめ、様々なスポーツ、運動の場として施設を利用いただいております。

なお、パークゴルフ場に関しては、当初より三世代スポーツと言っておりますが、現状、高齢者のスポーツになっているところがあります。上手い、下手、年齢、性別等に関係のない誰でもできるスポーツとして周知していくことが、パークゴルフ

ファンを増やす方法であると考えております。

それでは、一つ目のご質問、「平成33年、神奈川県で開催される全国健康福祉祭（ねんりんピック）におけるパークゴルフの誘致について」、お答えをいたします。

最初に、全国健康福祉祭（ねんりんピック）について、ご説明をさせていただきます。ねんりんピックは、厚生労働省、その年の開催県、政令指定都市及び一般社団法人長寿社会開発センターの三者共催により、60歳以上の方の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、昭和63年から毎年開催をされております。

神奈川県では、平成33年度にねんりんピック開催を目指し、既に内定していると聞いております。県は、ねんりんピック開催までのスケジュールとして、平成30年度に基本構想策定、平成31年度には大会実行委員会の立ち上げを考えております。また、各市町村においては、それまでに開催場所の決定や各種目会場ごとに実行委員会を平成32年度までに立ち上げ、中央競技団体と連携しながらプレ大会等のイベントを行うこととされております。

県は、事前に各種競技団体からの意向調査を実施しております。神奈川県パークゴルフ協会からは、開成水辺スポーツ公園をパークゴルフの開催希望会場としての意向打診があったとのことであります。県から各市町村へ開催希望種目を確認するため平成28年1月13日付けで開催意向調査があり、開成町としては2月22日付けでパークゴルフ場を希望種目とする旨を県に回答いたしました。

次に、「パークゴルフ場の新コース増設の検討状況について」、お答えをいたします。現在、パークゴルフ場は、あじさいコース、しいがしコース、バラコースの計27ホールがあります。ねんりんピックなどの全国大会には36ホールが必要であり、プラス9ホールが必要となります。一方、9ホールを増設するには河川法の制限があります。神奈川県から許認可を受けることは容易ではありませんが、9ホール増設に向けて、平成28年度から平成30年度までの総合計画第2期実施計画にパークゴルフ場改修を位置付け、必要な手続きを進める考えであります。

次に、「硬式・軟式兼用テニスコートの建設について」であります。実は、ご質問では「町内において競技人口が増加し、町営のテニスコートの建設が望まれる」とされておりますが、町としては増加しているという状況が把握できておりません。また、テニスコートの建設を望む声もスポーツ団体等から届いておりません。また、町営でなくてはならない状況も、今のところ見当たらないと考えております。町内には民営施設もあり、今のところ水辺スポーツ公園、及び、その付近だけではなく、町営での整備は考えておりません。しかしながら、町民ニーズに関しましては、総合型スポーツクラブの意向や指定管理者からの声などを聞き、状況の把握に努めてまいりたいと思っております。

次に、「サッカー場の拡張について」お答えをいたします。サッカー場の規格につきましては、ルール上ではタッチライン、いわゆる長さは、90メートルから1

20メートル、ゴールライン、いわゆる幅は45メートルから90メートルとされております。水辺スポーツ公園サッカー場は、長さ100メートル、幅が50メートルあります。大人用ゴールポストやゴールネットも用意されており、大人も子どもも十分ご使用いただける状況であります。また、サッカー以外にも様々なスポーツに利用されております。したがって、現在のところ、拡張する計画はございません。先ほど申し上げましたが、まずは、ねんりんピックに向けてパークゴルフ場の9ホール増設に取り組んでいきたいと考えております。

最後に、「パークゴルフを中学校の課外活動に」、についてお答えをいたします。結論から申し上げますと、パークゴルフを中学校の教育課程や部活動に位置付けることは、移動時間や安全面等から、実施する考えは今のところありません。学校以外に自治会によっては自治会主催により子どもから大人まで参加できるパークゴルフ大会を催しており、一部の生徒は参加をして違う年代の人たちと交流を図っております。

また、夏には青少年指導員が中心になって「中学校地域交流ゲートボール大会」を長く開催をしております。開催にあたっては、開成町ゲートボール連合、中学生と保護者を対象とした青少年健全育成会、文命中学校の教職員、議員の方々にご協力いただき、地域と様々な立場の方々との交流するスポーツとして実施をしております。この事業は、中学校の授業としては位置付けられておりませんが、地域の皆さんとの交流の場の一つとして行っております。生徒と保護者がともに参加できるPTAや親父の会等事業にパークゴルフを推奨することは、可能であると考えております。また、プレーできる年齢には制限がありますが、子ども会、子ども会育成会等の行事としても実施しやすいと思っておりますので、広く啓発をしていきたいと考えております。

以上であります。よろしく願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

ただいま町長から答弁いただきまして、順次、再質問をさせていただきます。

まず、ねんりんピックについてお伺いいたします。先月末、2月22日に町としてパークゴルフを開催希望種目といたしまして回答したということですが、2月22日といっても先週のことですけれども、この辺、何か進捗はあったのか、お伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

福祉課長。

○福祉課長（小宮好徳）

それでは、お答えさせていただきます。

進捗状況ということでございますけれども、一応、こちらのほうで開成町としてパークゴルフを開催希望というところから出させていただいて、その後はまだ何もな

いと。ほかの市町村が何をやるかというのも、まだ把握していない状況でございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

わかりました。ありがとうございます。

このねんりんピックも視野に入れていたと思うのですが、9ホール増設に向けて総合計画、第2期実施計画にパークゴルフ場改修を位置付けているということですが、河川法の関係もあり整備の許認可は厳しいということですが、私も、この辺、何回か質問させていただいていますけれども、一番、ここが大変なところかなということは認識しております。

平成33年度のねんりんピック、また前年度にプレ大会等、イベント等が行われるということですが、それまでに9ホールの増設ができなかった場合、ねんりんピックのパークゴルフ開催に影響が出るのか、また全国大会のように仮設のコースで対応できるのか、その辺、お伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

福祉課長。

○福祉課長（小宮好徳）

それでは、お答えさせていただきます。

9ホール増設できない場合、仮の話でございますけれども、過去に高知県のほうでは2町で共催したという実績がございますので、近隣市町、南足柄、松田、中井とか、パークゴルフをやっておりますので、あと山北ですね、やっておりますので、そちらの町と共催してやることは可能かと考えますので、町としましてはパークゴルフを開催するという方向でいきたいと考えてございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

私も、できれば開成町で開催していただきたいと思っておりますけれども、そういう連携というのもありかなと。ねんりんピックが開成町で開催されて成功することを期待しているのですが、また、9ホール増設は、ねんりんピックにかかわらずパークゴルフ利用者の方たちが楽しみにしておりますので、ぜひ、今後、実現していただきたいというふうに思っております。

ただいまパークゴルフの連携の話が出ましたので、一つ、確認させていただきたいと思っております。ちょうど1年前、私、パークゴルフ連携について質問させていただいたのですが、そのときに指定管理者間で、たしか、連携会議と言いましたっけ、と思うのですが、これが始まるような感じだったので、連

携会議ですか、これは現在どのような感じで進められているのか、お伺いします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

ご質問にお答えいたします。

昨年、ご質問をいただきまして、その際は会議を開催する前でした。今年の3月に指定管理者間、近隣の南足柄市さん、中井町、山北町、そして開成町、こちらが指定管理者制度を導入しておりますので、そちらの指定管理者間で連携会議ということで、今後、お互いにどういう形で連携するかという会議の場を3月に持ったと。それ以降でございますけれども、全国大会、各種大会を行っている中で、それぞれの周知をお互いにしていこうと、また情報共有もしていこうという形で運営を今しているというところでございます。

すみません。失礼しました。27年です。27年の3月でございます。失礼しました。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

少しずつですけども、順調に進められているということで理解いたしました。私、この連携会議、期待しておりますので、ぜひ開成町が主導となってやっていただきたいというふうに思います。

次の質問に行きたいと思います。

まず、町長にお伺いいたします。私は、今後、開成町がスポーツ推進、また開成水辺スポーツ公園の運営をしていく上で、先ほどのパークゴルフをはじめ、これからは様々なスポーツでも近隣自治体と連携していくことが必要なのかなというふうに思っております。その中で、開成町のスポーツの拠点である開成水辺スポーツ公園、この辺の位置付けをしっかりと持って、環境整備をして利用者確保をいただいて、子どもから大人まで、高齢者の方までスポーツに慣れ親しんでいけるような取り組みをしていただきたいというふうに考えておりますけれども、この辺についての町長のお考えをお伺いしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

水辺スポーツ公園はスポーツの拠点として、大事な私も位置付けで考えております。特に、パークゴルフは開成町から関東に広がったという経緯から考えれば、先ほどのあと9ホールの増設というのは、これはなかなか普段のときには土木の事務所の許可を取るのが難しい。今回、県が、ねんりんピックという形で神奈川県の中でパークゴルフを開成町でやっていただけることになれば、それは県に対してきちんと、こういうときをきっかけに土木の規制を少し考えていただく中で9ホール増

設を考えていきたい。できるだけ、この時期に考えていきたいと思っています。なかなか普段の時期において土木から河川敷を改修するという許可を取るのは難しいものがありますので、これはちょうどいい機会だと私は思っていますので。やはり水辺スポーツ公園のスポーツの拠点ですけれども、核はパークゴルフ場だと私は考えています。

それ以外にも、先ほどのサッカー場、野球場、いろいろな施設がありますけれども、できるだけ多くの皆さんに利用していただく。指定管理者を導入して以来、その辺は、指定管理者がベルマーレの関係の団体でもありますので、いろいろな新しい競技、自転車も新しい競技として水辺スポーツ公園で利用していただくことができたりとか、そういう意味も含めて、これからも様々な競技、新しいスポーツをこの中で導入できるように、ソフトの面においても、その辺は促していきたいと思っています。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

ただいま町長から答弁をいただきまして、大筋ですけれども、私と考え方はそんな違いはないというふうに私は理解いたしました。

それでは、次の質問に移らせていただきます。

テニスコートの建設ですけれども、先ほどの町長答弁をいただきまして、ちょっとスポーツ振興に対する姿勢ですかね、正直、弱いのかなと。コート建設をすとかしないとか、そういうところではなくて、総合計画と見比べても答弁としてちょっと寂しいのかなというふうな感じを受けました。

まず、競技人口の増加ですけれども、私は、開成町において現在、文命中学校のテニス部の部員が増えているということだったり、総合型地域スポーツクラブの、これ、たしか硬式テニスだと思うのですけれども、子どもたちの参加が増えているということで、この辺で私、競技人口の増加ということでは言わせていただいたのですけれども。競技人口とは言えないのかもしれませんが、特に、子どもたちがスポーツに興味を持ち始めて、総合型地域スポーツクラブに参加された子どもたちの思いといいますか、気持ちを、私、ぜひ大切に考えたいというふうに思うのですけれども、この辺の町の考えをお伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

今、テニスの関係で、子どもたちの話の中で中学校の話も出ましたけれども、確かに中学校の生徒のテニスに対する部員の数が大分多いと。私も実感として感じております。そういう中で、今、吉田島総合高校のテニスコートを、県の教育委員会と交渉して、使っていないときは使わせていただくように。今、土・日、相当の文中の生徒が吉田島総合高校のテニスコートを使わせてもらっているのは、そのよう

な形で進めておりますし、それは、確かに、子どもたちのテニスコートに対する、競技に対する意識は高いのかなど。また、そういう中で、環境面で設備を、文命中学校の中にもう一面というふうにはなかなかないかないので、すぐ近くにある吉田島総合高校のテニスコートを借りるようになっているというふうに考えていただきたいなと思います。

総合スポーツクラブの中でテニスのそういうふうなこともやっておりますけれども、これは民間の施設が町内にありますので、そこを借りてテニス、軟式、硬式もやらせていただいておりますので、できるだけ町内に今ある施設を有効活用しながらやっていきたいと。これからも、そのように考えておりますので。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

ただいま町長のお考えをお聞かせいただきましたけれども、ちょっと、これ、私の考えということで。テニスコートの建設について、民営施設、これもあるということですが、民営施設、現在、やはり本格的といいますか、それなりにテニスに取り組んでいる人たち、こういう人たちが本当のテニス競技人口と言うのかもしれないかもしれませんが、そういう人たちが利用されるのかなど。先ほどの子どもたちとか、将来的には、こういう民間施設、こういうところでプレーするようになっていただきたいというふうに私も思っておりますけれども、総合型地域スポーツクラブに参加した子どもたちや初心者の人たち、また中学生たちが気軽に楽しめるコートとして。公営は実際に料金が安いということもありますし、これは町に負担になるかもしれませんが、そんなことを考えて町営施設ということで私は提案させていただきました。

また、総合型地域スポーツクラブの成果として参加者が現在も増えておりますし、そういった成果を町が、第2段階といいますか、サポートするという観点からも、町営のテニスコートの建設をというふうに考えられたらというふうに思うのですが、また再度、お伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

テニスコートを水辺スポーツ公園にということの話でありますけれども、私は、できるだけ、これからの時代は、その前の議員の小田原と南足柄の協議の話のときにも出ましたが、これから広域連携の中で、できるだけやっていくという考え方も必要で。この近辺を見ると、怒田の運動公園にテニスコートもありますし、また体育センターほか、南足柄にもすぐ近くにそういう施設がありますので、広域の中で開成町民であっても同じような施設として利用できるような連携強化をしながら、開成町のない部分、開成町のある部分と、相互の中でお互いの市民、町民が利用できるような方向に持っていくほうが、これからの財政的負担も含めて、その

辺が必要ではないかと考えております。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

私も、今、町長が言われたのは一理あると思うのですが、これは私の認識なのでは、近隣の公営テニスコート、利用状況といたしまして、ほとんどのところで、現在、週末になると、その辺、1カ月前に予約をしなければとれないというような状況もお聞きしております。絶対数として、私、不足しているようなことも言われておりますので、この辺は、また、ぜひ検討していただければというふうに思っております。

また、建設を望む声も届いていないということでしたけれども、私が聞いた方は町にも伝えてあるということでは、伝えた状況とか、その辺の違いがあるかもしれませんので、団体にもこの方は所属している方ですので、私、正式な形で町のほうに、もう一度、そういう要望があるのでしたら伝えていただくように言っておきますので、また、そのときには対応のほうをよろしく願いしたいと思います。

続きまして、サッカー場の関係ですけれども、サッカー場を拡張するというところで、今現在、指定管理者さんの関係でベルマーレ、有名なサッカーチームがありますけれども、この辺で練習できる環境ができて、年に数回でもこういうチームに来ていただければ、子どもたちが生のプレーを見て、よい刺激になるのではないかなというふうに思っているのですが、その辺についてお伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

ご質問にお答えいたします。

今現在、指定管理者であります開成スポーツパートナーズにつきましては、湘南造園、それからNPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ、それと横浜緑地の三者で構成をされております。そのような関係で、湘南ベルマーレのユース、アンダー15のチームが練習に使うということもございます。ただ、Jリーグの選手など、トップチームになると、練習に使うというほどでは、スペース的なことで、ないところがあります。そういうようなところではございますけれども、ユースのチーム、そういうような方が、定期的にであったり年何回でもこちらのほうに来て練習をするというようなことがあれば、確かに、今後、例えば、その子たちがJリーグに羽ばたいたりとかというようなことがあれば、開成水辺スポーツ公園を利用していただけたらというところで、子どもたちに刺激になったり親近感を持ったりというところもあるかと思っております。

そういうお考えの中もございしますが、サッカー場は子どもから大人までということで、現在の利用状況も見た中ではございしますが、ほとんど土・日は予約で埋まっ

ているというようなどころもございます。その辺、指定管理者のほうと現在の利用状況、それからベルマーレのユースが練習すること、どのぐらいの頻度で来てもらえるのかとか、そういうようなどころも聞きながら、サッカー場の利用促進については調整していきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

また、水辺スポーツ公園の芝、これは非常に評判がよくて、芝生を広くすることで、これも総合型地域スポーツクラブですが、ラグビーなど、今、かなり人気があるということで、このようなどころでも、さまざまなスポーツの種目でも活用できるのではないかなというふうに思うのですけれども。

私、ソフトボール場のあれなのですけれども、今は軟式野球場があるホームベースの位置と同じ位置にソフトボール場のホームベースの位置をやると、ちょっと縦長なのですけれどもサッカー場が広がるかなと。ちょっとでも芝生のスペースを増やしていただくというような、その辺についてはどうでしょうか、お考えをお伺いします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

形状を変えてというところのご提案でございますが、現在のところ、利用状況の中で、土・日は埋まっているというようなお話をさせていただきましたが、大人も子どもも今のところ利用に当たっては充足しているといえますか、特に問題なく来ておりますので、そういう意味で。

拡張というお話になるかと思いますが、実は、河川法の話になってしまうのですが、なかなか整備のことも容易ではないということがございます。そういうところで、まずは河川区域であり整備が厳しいということから、大本の話になってしまいますが、パークゴルフ場の9ホール、そちらのほうを、まず水辺スポーツ公園の整備に関しましては優先的に進めていきたいということで。サッカー場のお話につきましては、そういうところのニーズですとか、そういうようなお話は、例えば総合型スポーツクラブですとか指定管理者のほうから状況なども改めてこちらのほうで把握に努めますので、そういうようなどころも踏まえて考えていくようなどころで進めていきたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

ぜひ、状況、ニーズなどを把握していただいて、今後検討していただきたいというふうに思います。

また、ちょっと細かい話なのですが、サッカー場の関係で。サッカー場は管理棟からもちょっと離れておりまして、周辺に日影がないということで「夏など大変なのだよ」などという声も聞くのですけれども、それは自分たちでどうにかしてくれということもわかるのですけれども、今、熱中症で命を落とすなどということもございますので、管理する側としても、この辺の対策というのを考えられてもよいのかなというふうに思っているのですけれども。私、ちょっと調べたら、三方を、横と後ろと、あと屋根、これが囲われている移動式フィルターというような、移動できるような、何か、そういう日陰をつくるようなものもありましたので、この辺も、ぜひ指定管理者さんなどと対策を検討していただきたいというふうに思うのですけれども、その辺の考えをお伺いします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

ご質問にお答えします。

おっしゃられるように、夏場、かなり日影がないということで、暑さをしのぐ策がないというところの中で、いろいろな大会ですとか、そういう場では、指定管理者のほうで持っている簡易的なテントなどをお貸しをしているようなところはございます。

議員のお話しの移動式シェルターというものでございますが、そのものがどの程度の構造物に値するかというようなところが、これもまた河川法の話になってしまうのですけれども、今、野球場、ソフトボール場のバックネットもございまして、あれも占用の許可を取って設置をしているものとなっております。こういう形状のものを設置するということで許可をもらっているものになりますので、移動式シェルターというものが、どの程度の大きさで、どのようなところというのも、また考えなければいけないと。また、1年中使うものでもないということがありますと、その辺、確認をした上でということになりますので、お話として、どういうものかというのを、まず我々のほうでも確認をしたいというふうに思います。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木昇）

わかりました。もし、よろしければ、後で、私、課長のほうに、どんなものかお伝えしたいと思います。

開成水辺スポーツ公園、これからも利用者さんを増やしていくために、私、一番公園がマンネリ化しないようにしなくてはいけないのかなというふうに思っております。小田原の子ども国とかディズニールランドなどもそうだと思うのですけれども、やはり変化をしていかなければ、利用者さんもなかなかマンネリ化すると飽きられてしまうかなと。水辺公園も以前、子どもの遊具などを変えたりして、子どもの利用者さんが増えたりとか。現在、先ほど来、もう何回も言われていますけれど

も、パークゴルフ場の9ホール増設に取り組んでいきたいということなので、今は9ホール増設ということで理解いたしまして、これからも、ぜひ開成水辺スポーツ公園、そういった考え方で運営して行っていただきたいというふうに思います。

続いての質問に移らせていただきますけれども、パークゴルフを中学校の課外活動にですけれども、先ほど町長答弁にありました三大スポーツといいながらも高齢者のプレーヤーが多いということで、私も今回、この質問をさせていただきました。また、非常に丁寧な答弁もいただきまして、教育課程にまで取り入れてくれというのは、私も、その辺は理解しておりますので。文命中学校とかでも、今、おやじの会さんなんかの親子レクリエーションなどというのもやられているようなので、そういうところに町からパークゴルフを推奨していただいて、先ほど答弁にありました啓発なども積極的にやって行っていただきたいというふうをお願いしたいと思います。

これからも、開成水辺スポーツ公園を開成町のスポーツ、また利用される人たちの触れ合いの場の拠点となるような施設にしていきたいと思います。水辺スポーツ公園に関しまして、また機会を見まして、私、質問させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。これで私の質問を終わらせていただきます。

○議長（茅沼隆文）

これで佐々木議員の一般質問を終了いたします。